

# 担い手の育成・確保

## 要約

### ○就農予定者、新規就農者への経営改善支援

- ・就農予定者2名と既存の新規就農者2名への青年等就農計画作成を支援
- ・指導状況をデータベース化し、関係機関の連携による新規就農者フォローアップを推進
- ・榛原花卉組合におけるダリア新規参入者向けの研修体制を整備

### 現状(背景)と課題

- ・(現状) 地域の農業の担い手の高齢化と減少が進行  
農業法人の研修生が新規就農する事例が増加
- ・(課題) 新規就農予定者への就農支援  
新規就農者の定着とフォローアップ

### 目標

- ・青年等就農計画の認定者数 2名
- ・就農計画3年目目標達成者 7名
- ・ダリア新規参入受入体制の整備



### 活動内容

- ・青年等就農計画の作成支援 11回
- ・新規就農者フォローアップ相談 31回実施
- ・経営講座(大和高原農業経営セミナー) 1回開催
- ・榛原花卉組合打合せ 5回実施

### 成果

青年等就農計画の認定者数 4名  
 就農3年目計画達成者 1名  
 新規就農者フォローアップシートによる指導経過のデータベース化 27名  
 ダリア産地新規参入のための研修受入体制を整備



新規就農者フォローアップによる現地指導



「地域の資源を宝にかえる」有路氏の講演(H27)

## 普及活動のポイント

- ・新規就農希望段階から相談を重ねることにより、就農計画の作成や施設等整備のための補助・融資制度活用を効果的に支援。
- ・新規就農者フォローアップシートを活用し、個別の指導状況をデータベース化。
- ・「大和高原農業経営セミナー」において、近畿大学農学部准教授 有路昌彦氏から講演をいただき、研修生を含めた多数の農業者が受講。
- ・榛原花卉組合の組織的取組みとして、研修受入のための合意形成を誘導。

## 対象の変化

- ・就農予定者については、青年等就農計画の作成、認定を経て、円滑な就農ができた。
- ・新規就農者については、収量や作付面積が計画を下回る者が多いが、課題克服のため意欲的な営農活動が行われている。
- ・セミナーでは9割以上の参加者が良かったと評価し、今後の農業経営に役立てられると思われる。

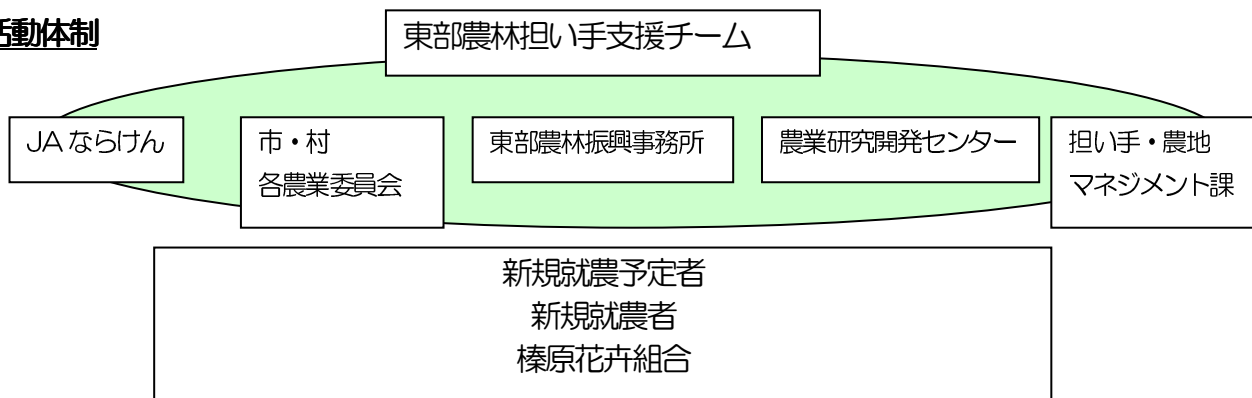
## 対象者からのコメント

- ・研修中から継続的な相談指導を受けたことで、就農計画や資金利用計画の作成支援だけでなく、適切な事業や融資を活用した予定どおりの就農ができた。(新規就農者)。

## これからの活動ビジョン

- ・新規就農者は、補助事業や融資を活用した設備投資等の支援を受けており、技術・経営両面のバックアップ体制が必要なので、関係機関と連携して、就農計画達成に向けたフォローを継続する。

## 活動体制



## 用語解説

### フォローアップシート

新規就農者の経営が軌道に乗るまでの概ね5年間を県全体でフォローアップするため、基本情報や営農状況、指導記録等を記載する個人別のシート。

### 青年等就農計画

就農希望者（就農済みの者も可）が、就農5年目の自らの経営の目標（所得、経営内容、規模、資本装備等）及び達成のために必要な研修や資金調達などを盛り込んだ計画。